

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 京都府立京都すばる高等学校 】

1 実践テーマ	【Ⅲ・Ⅴ】
2 実施対象者	京都すばる高校 全校生徒924名、教職員60名、保護者0名 （※保護者への案内をしています）
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ ） ② 行事名（LHRを活用した講演会(体験型を含む)） ③ その他（中学生とのスポーツ交流） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者理解を深める。</li> <li>・人権尊重の精神を涵養する。</li> <li>・共生社会の形成を担う人材を育成する。</li> <li>・オリンピック・パラリンピックの理念や価値を理解し、スポーツへの関心を高める異校種間交流を行う。</li> </ul>
5 取組内容	(1) 障害者スポーツ理解の講演会（体験を含む） ・実施日程：平成30年10月24日（水） 14:45～16:35 ・会場：本校 体育館 ・実施形態：講演と障がい者スポーツ体験（車いす乗車による） ・講師：一般社団法人 京都障害者スポーツ振興会 副会長 森田 美千代 様 ・演題：「障害者スポーツを通して」 ・内容： 講演においては、京都障害者スポーツ振興会の事業内容および障害者スポーツの概要の説明の後、実際に車いすバスケットボール競技で頑張っている選手の様子（障害の状況・競技を始める契機・競技活動等）を映像等を交えて紹介していただき、障害者に対する理解と障害者スポーツへの理解を深めることができました。 講演の後には、実際に障害者スポーツを体験する時間を設定し、各クラスの代表生徒が、競技用車いすやアイマスクを使用して、バスケットボールや卓球を体験することで、また、体験を見学することで、さらに障害者スポーツの理解を深めることができました。





▲競技用自転車体験



▲車いすバスケットボール体験



▲車いすバスケットボール体験



▲車いす卓球体験



▲アイマスク卓球体験



▲アイマスクでパス体験

(2) 中学生とのスポーツ交流 (バレーボール・ハンドボール)  
 スポーツを通じた異校種間の交流において、本校のオリ・パラ教育を紹介するとともに、オリンピック・パラリンピックの理念やスポーツの価値を体験とおして考える機会を持った。

①中学生交流 (ハンドボール)

- ・日程 12月22日(土)
- ・対象 近隣中学校生徒 (参加中学生 9名)

②中学生交流 (バレーボール)

- ・日程 12月12日(水)・19日(水)
- ・対象 近隣中学校生徒 (参加中学生 30名)

	<p>▲競技用自転車体験</p> <p>▲車いすバスケットボール体験</p> <p>▲車いすバスケットボール体験</p> <p>▲車いす卓球体験</p> <p>▲アイマスク卓球体験</p> <p>▲アイマスクでパス体験</p> <p>(2) 中学生とのスポーツ交流 (バレーボール・ハンドボール)          スポーツを通じた異校種間の交流において、本校のオリ・パラ教育を紹介するとともに、オリンピック・パラリンピックの理念やスポーツの価値を体験とおして考える機会を持った。</p> <p>①中学生交流 (ハンドボール)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日程 12月22日(土)</li> <li>・対象 近隣中学校生徒 (参加中学生 9名)</li> </ul> <p>②中学生交流 (バレーボール)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日程 12月12日(水)・19日(水)</li> <li>・対象 近隣中学校生徒 (参加中学生 30名)</li> </ul>
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者理解をさらに深めることができ、障害者スポーツの振興への興味関心も高めることができた。</li> <li>・体験型により、競技をする側の立場をより知ることができ、パラリンピック競技者を応援する気持ちをさらに醸成できた。</li> <li>・競技を、「する」・「見る」・「応援する」という3つの楽しみ方についても理解を深めた。</li> <li>・中学校とのスポーツ交流を行い、本校におけるオリ・パラ教育を紹介し、その理念や価値を考える機会を持つことができた。</li> </ul>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演に加えて、障害者スポーツの体験を取り入れた。</li> <li>・講演については、保護者にも案内した。</li> <li>・中学生との交流で、オリ・パラの価値を考える機会を設定した。</li> </ul>
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験できる生徒数が増やせるように工夫が必要。</li> <li>・保護者等の学校外からの参観者を増やせるように工夫が必要。</li> </ul>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピック・パラリンピックの開催に向けた京都の伝統や文化等の発信をしていきたい。</li> </ul>